

社 外 秘

## 2023年3月期 第2四半期決算の状況

## &lt;総括&gt;

■ 日本郵便(連結)の営業収益は前中間期比840億円減の1兆7,015億円、営業利益は前中間期比35億円減の350億円、中間純利益は前中間期比199億円増の263億円。

## ■ 事業別でみると、

- 「郵便・物流事業」…営業収益は、マイナンバー関連郵便物や後期高齢者医療被保険者証の再交付などの一時的な差出増加に加え、前年度第2四半期から新たに連結した子会社の影響(前年度第1四半期は計上なし)による増加があったものの、厳しい競争環境等によりゆうパック(ゆうパケット含む)が減少したこと等により、減収。営業費用は業務量に応じた担務別コストコントロールの取組等を進めたものの、水道光熱費や新たに連結した子会社の費用増の影響もあり、営業損益は減益。
- 「郵便局窓口事業」…営業収益は、保険手数料や銀行手数料の減少が続き、減収。2022年4月からの新しいかんぽ営業体制への移行等に伴い、人件費が保険手数料の減少を上回って減少したこと等により、営業利益は増益。
- 「国際物流事業」…営業収益は、フォワーディング事業の貨物需要増による増収が続いているものの、2021年8月のエクスプレス事業譲渡に伴う収益剥落の影響により、減収。営業費用もエクスプレス事業の費用剥落等により減少したものの、営業損益(EBIT)は減益。

(億円、下段括弧内は百万豪ドル)

	日本郵便 (連結)	前中間期比	郵便・物流 事業	前中間期比	郵便局窓口 事業	前中間期比	国際物流 事業	前中間期比
営業収益	17,015	△ 840	9,469	△ 70	5,378	△ 350	3,232 (3,455)	△ 435 (△ 984)
営業費用	16,665	△ 805	9,532	+ 64	5,006	△ 526	3,150 (3,367)	△ 362 (△ 884)
人件費	10,429	△ 715	6,056	+ 15	3,619	△ 541	754 (806)	△ 189 (△ 335)
経費	6,235	△ 90	3,476	+ 48	1,387	+ 15	2,396 (2,561)	△ 173 (△ 548)
営業損益	350	△ 35	△ 63	△ 135	371	+ 176	81 (87)	△ 73 (△ 99)
経常利益	346	△ 2						
特別損益	56	+ 151						
税引前中間純利益	403	+ 148						
中間純利益	263	+ 199						

※ 本資料は報道発表資料に合わせて「日本郵便連結」での決算数値を記載しています。「日本郵便連結」とは日本郵便株式会社を親会社として、連結対象の子会社等の成績も含めた連結決算です。

## 【取扱数量の推移】

(郵便・物流事業)



注: 「ゆうパック」には、ゆうパケットを含みます。

## 【収益構造の推移】

(郵便局窓口事業)

